

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト脳内の磁性鉱物の起源推定及び疾病との関連性の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	【対象者】 ・ご遺族（親族あるいは後見人である成人）により、病理解剖および組織の保管、研究目的での使用についての承諾をいただき、新潟大学脳研究所のスタッフにより剖検された方の中で下記に当てはまる患者様（それぞれ 10 名程度）。 ・アルツハイマー病患者脳については臨床病理学的にアルツハイマー病と診断されている患者様。 ・対照正常高齢者脳については、臨床病理学的に中枢神経疾患の存在が否定されている患者様。
③概要	本研究は、ナノ及びマイクロメートルサイズの小さな磁性鉱物に着目し、我が国におけるヒトの脳内の磁性鉱物の存在（種類・量・粒径）を岩石磁気分析の手法を用いて明らかにすることを目的とする研究です。 そのために新潟大学脳研究所病理学分野で保管されている、病理解剖由来のヒト脳組織を用います。研究対象者は死者であり、本研究に対して同意を得ている方になります。 研究対象となる方は本研究に対していつでも拒否する機会があり、拒否しても不利益が生じることはありません。
④申請番号	C2025-0035
⑤研究の目的・意義	鉄は生体にとって必須の金属元素であり、鉄の欠乏及び過剰は様々な疾病を引き起こします。その鉄の存在形態の一つとして磁性鉱物があります。本研究は、脳試料を対象にした岩石磁気分析により脳内の磁性鉱物の起源を推定し、磁性鉱物量とアルツハイマー病などの神経疾患との関連性の解明を目指します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学脳研究所が提供する試料は、岩石磁器分析を行うため利用します。試料は、剖検により採取され、同研究所で管理されているホルマリン固定脳組織の一部で、提供する情報は、患者名などの個人情報とは関係のない症例番号だけです。臨床データとしては、疾患名、性別および年齢に限定して使用するため、個人が特定されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	新潟大学脳研究所病理学分野で保管されている、病理解剖由来のヒト脳組織（10%バッファホルマリンで固定されている脳組織標本から切り出した小片）。それに付随する疾患名、性別および年齢の情報。
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野 教授 他田 真理 共同研究機関：富山大学学術研究部都市デザイン学系

	地球システム科学科 准教授 川崎 一雄
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田 明美
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学脳研究所脳疾患標本資源解析学分野 氏名：他田 真理 Tel：025-227-0636 E-mail：tadamari @bri.niigata-u.ac.jp